



# おはよう

泉山長老  
俊朝

京都第一日赤だより



人道と奉仕の赤十字精神に基づき、  
患者さまにとって安心できる  
適切な医療を行ないます。

## 秋号

2016年10月発行

vol. 62

### Contents

形成外科外来のお知らせ	2
ベストドクターズ選出のお知らせ	3
がん地域連携クリティカルパス	3
病診連携懇話会開催報告	4, 5
就任のご挨拶	6
頭頸部腫瘍専門外来をはじめました	7

### 医療連携は新時代 ～競合から協調へ～

一昔前、医療はまさに競合の時代でした。各病院が、地域からより多くの患者様を集めて収益を確保することに懸命でした。そのころの病診連携は、地域から患者様を吸い上げるための方便にすぎませんでした。今、地域医療は協調の時代を迎えています。規模や設備面で異なる医療機関や施設が、各々の機能を分担・補完しあわなければ、地域にあふれかえる患者様に効率よく、最適な医療を提供することは出来ませんし、医療経営も立ち行きません。現在の医療連携は地域で効率的に機能分担を行うために不可欠であり、そこに競合はなく、相互理解と協調こそが基本的な関係であらねばなりません。

当院は地域医療支援病院であり、高度急性期医療機関として三次救急や高度専門医療に特化していきます。

そのため、前方連携としてかかりつけ医、一次・二次救急病院と、後方連携として回復期リハビリテーション・地域包括ケア病床・療養病床を持つ医療機関や在宅医療・介護・看取りなどをして頂く先生方、コメディカルと、幅広く協調関係を築いていきます。われわれは今、「逆紹介の促進」「紹介患者予約システムの簡便化」「転院調整期間の短縮」「電子カルテを利用した医療情報共有」「研修や学習を通じた人的交流」などの課題について院内での検討を進めています。いずれも連携施設との協調関係の強化を目指したものですので、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

京都第一赤十字病院  
副院長

福田 亘

## 形成外科外来のお知らせ

### ご挨拶

形成外科 岩井 伸哉

初めまして、9月1日より京都第一赤十字病院形成外科部長を拝命いたしました岩井伸哉と申します。2004年に京都大学を卒業後、京都大学医学部附属病院、京都医療センターで初期臨床研修を修了し、日本赤十字社和歌山医療センター、市立島田市民病院、大阪赤十字病院、広島市民病院と各地で形成外科診療に携わり、約10年ぶりに京都に戻らせていただくことになりました。出身が、京都市伏見区ということもあり、地元である京都の地域医療に貢献できる喜びとともに、市の基幹病院の一翼を担う責任を肌と感じ、身の引き締まる思いです。現在、形成外科の扱う疾患は多様化しており、顔面骨折や軟部組織損傷をはじめとする「外傷」、小児の体表における「先天異常」、「皮膚・皮下腫瘍」、「瘢痕拘縮・ケロイド」、「難治性潰瘍」、眼瞼下垂やさかまつげ等まぶたの異常を含む「炎症・変性疾患」、そして近年インプラントが保険診療となった乳房再建など、組織欠損に対する「再建」を主な守備範囲としています。他の診療科と重複する分野もあるため、施設によって各科との関わりから対象範囲が少し異なる場合もありますが、日常の診療で、形成外科に相談してみたいという患者様がいらっしゃいましたら、是非ともご紹介いただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

#### ■ 診察担当医表

	月	火	水	木	金
午前	—	—	岩井	—	—
午後	岩井	—	江野尻	—	岩井

岩井 伸哉  
Shinya Iwai

【卒業年】平成16年

【認定医・専門等資格名】

日本形成外科学会専門医、  
乳房再建エキスパンダー/  
インプラント責任医師



### 岩井伸哉先生をよろしく



京都大学 形成外科学 教授  
鈴木 茂彦

私が形成外科医になった頃、最も興味があったのは熱傷の治療でした。当時、京都第一赤十字病院 外科には熱傷の専門家として有名な大矢英次郎先生がおられました。私は大矢英次郎先生の学会発表を聴かせていただき、また論文を読ませていただき、非常に勉強になったことを今でも感謝しています。その大矢英次郎先生の息子さんが京大 形成外科に入局され、のちに京都医療センターで勤務されていた時に、初期臨床研修医だった岩井先生が大矢先生の手術に入らせてもらったことで「形成外科」を目指す決心がついたと聞いています。このたび岩井先生が京都第一赤十字病院 形成外科にて診療に携わる機会をいただきましたことを奇遇に感じております。

岩井先生は直近まで勤務していた広島市民病院で乳房再建を多く経験しており再建手術にも精通していますが、それ以前にいろいろな領域の専門家がトップにいる基幹病院で形成外科の修練を積み重ねて参りましたのでオールラウンドの形成外科専門医であるといえます。今後共、岩井伸哉先生をよろしく申し上げます。

## ベストドクターズ選出のお知らせ

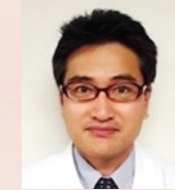


### 大澤 透 第二整形外科部長が Best Doctors (ベストドクターズ) に選出されました。

第二整形外科部長 大澤 透 がベストドクターズ社より医師同士の相互評価によって「Best Doctors Japan 2016-2017」に選出されました。これで二度目の選出となります。

ベストドクターズ社の名医選出方法は、医師に対して「もし、自分や大切な人が、自分の専門分野の病気にかかった場合、自分以外の誰に治療を委ねるか」という観点から、他の医師についての評価を伺うことで進められ、最終的に調査結果から一定以上の評価を得た医師を名医 (Best Doctors) に認定するというものです。

現在、世界中で約53,000名の医師が名医として認定されており、日本では約6,500名が認定されています。(医師数は2016年7月現在)



第二整形外科部長  
大澤 透

Toru Osawa

#### 【専門領域】

脊椎脊髄疾患、内視鏡脊椎手術、末梢神経疾患、電気生理診断

#### 【認定医・専門等資格名】

日本整形外科学会認定専門医  
日本整形外科学会脊椎脊髄病医  
日本整形外科学会脊椎内視鏡下手術・技術認定医  
日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医  
日本整形外科学会運動器リハビリテーション医  
京都府立医科大学客員講師

【個人HP】 <http://spine-clinic.jp/>

 **ベストドクターズ公式サイト**  
<http://www.bestdoctors.jp/>

 **米国ベストドクターズ社公式サイト**  
<http://www.sociohealth.co.jp/>

### 京都第一赤十字病院 がん地域連携クリティカルパス

#### 『子宮頸部異形成術後連携パス』のご紹介

このたび京都第一赤十字病院産婦人科において京都第一赤十字病院 がん地域連携クリティカルパス『子宮頸部異形成術後連携パス』を導入いたしました。これは子宮頸部異形成の診療を地域の先生方と当科とでクリティカルパスを導入し、これまでより、よりスムーズに運用するシステムです。患者様の理解も円滑に行われ、地域の先生方と当科とで共に管理料加算を得ることもできます。患者様の同意と当科と各医療機関との間にそれぞれの契約を結ぶ必要がありますが、当院がこれらの契約等はすべて行います。お気軽にご相談ください。

産婦人科 大久保智治



病診連携懇話会を平成28年7月7日(木)にハイアットリージェンシー京都で開催いたしました。今年度も平日木曜日の開催にもかかわらず多くの方々にご参加いただくことができました。今回は分科会として、医科、地域医療連携を企画させていただきました。

懇話会の2部では、新任部長の紹介、そして福田副院長による「2035年を見据えた医療連携ネットワークの構築」について講演がありました。

懇親会は予定時間より遅くなったにもかかわらず、地域の先生方、連携施設の皆様に多くご参加いただき、今後の地域医療連携にとって非常に有意義な会となったと思います。

今回は診療報酬改定により地域医療連携について、非常に興味を持たれている方が多く、例年のご参加いただいていない連携機関の方もお越しいただくことができ、会場は立ち見が出るほど盛況でした。今年度も含め、過去3年にわたり分科会を実施した結果、非常に多くの方にご参加いただける会となり、今後も継続してご満足いただける企画をしてみたいと思います。

地域医療連携係長 | 小池 良典

## プログラム

### 【第1部】各分野での連携強化を目指して

#### ① 医科 テーマ「新任副部長の専門分野と今後の取り組み」

18:00～ (各10分程度)	座長：院長補佐 山添 勝一 (専門領域)	第一整形外科/副部長 奥村 弥 第二整形外科/副部長 井上 敦夫 産婦人科/副部長 澤田 守男 泌尿器科/副部長 平岡 健児
--------------------	-------------------------	---

#### ② 地域医療連携 テーマ「2016診療報酬改定による地域医療連携に求められる取り組み」

18:00～18:05	開始の挨拶 医療社会事業部長 高階 謙一郎
18:05～18:09	専門・認定看護師派遣事業の紹介 看護部長 中島 路子
18:09～18:30	「DPCⅡ期を意識した退院支援」 京都第一赤十字病院 辻井 幸彦 「2016診療報酬改定～囲まれる回復期リハビリテーションの質」 京都大原記念病院 辻山 健太 先生 「2016診療報酬改定～地域包括ケア病床・障害者病床の立場から」 大島病院 飯村 弘徳 先生
18:55～19:00	閉会の挨拶 院長補佐 塩飽 保博

### 【第2部】当院の目指すべき地域医療連携

19:00～19:30	①院長の挨拶 院長 依田 建吾 ②新任部長紹介 事務部長 田中 準一 看護部長 中島 路子 総合内科部長 尾本 篤志 麻酔科部長 阪口 雅洋 ③「2035年を見据えた医療連携ネットワークの構築」 副院長 福田 互 ④閉会の挨拶 副院長 池田 栄人
-------------	---

### 【懇親会】 19:30～

## 第2部報告



副院長  
福田 互

平成28年度の京都第一赤十字病院病診連携懇話会が、7月7日、七夕の夜に開催されました。やや混雑した感のあった前年度の反省を踏まえて、今回は院内医師の参加を中堅以上とさせて貰いましたが、地域包括ケアや病床機能再編の時代を迎えて医療連携の重要性がますます高まる中、326名(院外207名、院内119名)と多くの方のご参加を頂き、盛会となりました。第一部は医科、地域連携、小児(小児は非公開)に分かれて分科会が行われました。医科では4名の新任副部長による学術講演が行われ、128名が参加、地域連携分科会は当院と京都大原記念病院、大島病院の連携担当者からの現状報告があり、149名が熱心に耳を傾けました。第2部は、院長からの新任部長紹介に引き続き「2035年を見据えた医療連携ネットワークの構築」というテーマで、当院の医療連携に対する取り組みと意欲を紹介させて頂きました。その後、懇親会に移りましたが、介護・福祉や薬剤師など多職種の参加が多かったこともあり、施設・職種の垣根を越えた情報交換が行われたものと思われま。分科会・本会ともに時間が限られていたこともあり、質疑を行う余裕がほとんどなかったことなどが、来年への反省点となりますが、この会を足がかりとしてさらに医療連携の強化を図っていく方針ですので、今後ともどうかよろしくお願ひ申し上げます。

## 医科分科会報告



第一整形外科副部長  
奥村 弥

本年度の病診連携懇話会医科分科会においては、第一整形外科、第二整形外科、産婦人科、泌尿器科より、4名の新任副部長が各専門分野に関する最新の取り組みについて報告いたしました。

第一整形外科副部長奥村は、専門とする手外科のみではなく多発外傷や重度四肢外傷治療において地域の中心となるべく、整形外科全員で取り組んでいる現状を報告しました。第二整形外科井上副部長は、人工膝関節置換術について出血のコントロールに関する工夫と合併症について発表しました。産婦人科澤田副部長は、子宮頸癌に対する妊孕性温存のための手術方法の工夫と新しい試みについて症例を提示しながら詳しく説明しました。泌尿器科平岡副部長は、近年増加傾向にある前立腺癌の治療において、スクリーニング検査後の早期紹介が重要であることを報告しました。講演後は、地域の先生とも活発な質疑応答が交わされ有意義な時間となりました。

どの先生の講演からも副部長として京都第一赤十字病院を背負っていかうとする熱い決意を感じました。地域の先生方から信頼されて患者様をスムーズに紹介しあえる関係を築いていくことの大切さを改めて感じる良い機会になったと思います。

## 地域医療連携分科会報告



医療社会事業課主任  
辻井 幸彦

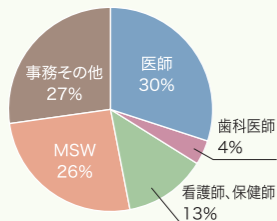
当分科会におきまして120名を上回るご参加を賜りました。想定を上回る皆様のご参加に一部プログラムを変更いたしましたことをこの誌面をお借りしてお詫び申し上げます。今年度の診療報酬改定が各医療機関へ与えたインパクトの大きさを感じる機会となりました。

急性期病院において、DPC導入とともに入院期間を意識した退院支援の取り組みが重要視されています。今年度の診療報酬の改定ではそうした在院日数削減の取り組みを評価すべく「退院支援加算1」が新設されました。早期介入、早期連携とともに、「連携医療機関との十分な意見交換」がその要件とされています。今後ますます医療機関同士の役割分担、相互理解と連携強化に期待が寄せられています。今回は、連携病院を代表して京都大原記念病院(回復期リハビリテーション病床)・辻山さま、大島病院(地域包括ケア病床、障害者施設等一般病床)・飯村さまより貴重なご講演をいただきその認識を深めることが出来ました。

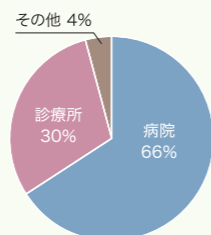
持続可能な社会の実現、地域で安心・安全に生活を継続できる地域包括ケアの実現に向けて、より一層の皆さまのご理解・ご協力を賜りますよう今後ともよろしくお願いいたします。

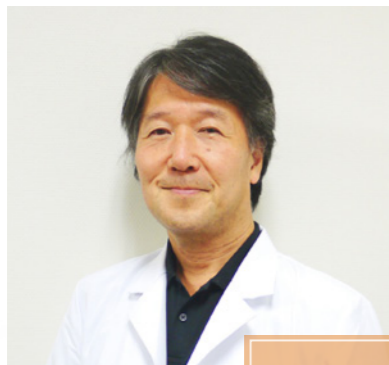
### ◆ 院外参加者内訳 ◆

職種	合計/当日
医師	62
歯科医師	9
看護師、保健師	26
MSW	54
事務その他	56
合計	207



施設	合計/当日
病院	137
診療所	61
その他	9
合計	207





大野 浩司  
Koji Ohno

プロフィール  
profile

【卒業年】昭和56年  
【認定医・専門資格名】

放射線診断専門医、日本IVR専門医、  
日本医学放射線学会、日本IVR学会、  
日本血管造影・IVR学会、関西地方会 世話人、  
日本医学放射線学会 関西地方会 世話人、  
関西アンギオカンファレンス 世話人

8月より、佐藤修先生の後任で、放射線診断科部長に、赴任しました大野浩司です。昭和56年京都府立医科大学卒です。小児科の木崎部長とは大学の同級生です。学生時代は、硬式野球部でお世話になり依田院長、池田副院長、吉田副院長はクラブの先輩でした。奇遇な感じで、京都第一赤十字病院との縁を感じます。

専門は、IVR、腹部領域中心の診断です。大学、明石市民病院、大阪鉄道病院で多くの肝癌TACEを中心としたIVRに携わってきました。40代くらいまでは、肝癌の診断、治療、胆嚢、膵臓領域の画像診断についての発表、論文も多くしてきました。

今までの豊富な臨床経験を生かして、病院のため、ご紹介頂ける地域医療の先生方のために、力を発揮していきたいと思っております。診断、検査内容でご質問ある時は、電話一本でお気軽にコンタクトして下さい。

趣味は、テニス、テコンドー、将棋、書道です。今のところ合計5段です。趣味の方でもお気軽にお声かけお誘いいただければと思います。

放射線診断科/部長 大野 浩司



頭頸部がん  
専門医のご紹介  
introduction

為野 仁輔  
Hitosuke Tameno

【卒業年】平成14年  
【認定医・専門資格名】

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医

はじめまして、肝臓・膵臓外科副部長の下村です。私は平成7年に京都府立医科大学を卒業後、当院で初期研修を受け、大学院、第二日赤を経て、7年前に当院に赴任しこのたび副部長を拝命しました。日赤外科での豊富な手術と救急における多彩な経験を生かし、肝臓膵臓手術を中心に、消化器外科手術や救急外傷患者の診察にも携わっております。

さて昨今、各科の治療が細分化専門化され、特に外科の鏡視下手術の分野は、年々めまぐるしく変化してきました。当院外科チームもその変化に対応すべく最新の治療を取り入れつつ研鑽を積んでおります。ご存じのとおり鏡視下手術は低侵襲で患者様のメリットは大きいものがありますが、その反面特に肝臓膵臓の分野は難易度も高く、他院の事例ですが死亡例が多発しました。その負の経験を日本全体で共有し、内視鏡外科関連学会に症例登録施設として参加協力しております。当院の内視鏡外科の歴史は比較的浅いですが、何よりも安全性を重視した治療を推進していく方針です。

また、我々は患者様のニーズに沿った治療を行っております。クリニックの先生方におかれましては、消化器症例、救急症例などいつでもご相談ください。そして今後ともご指導のほどお願い申し上げます。

肝臓・膵臓外科/副部長 下村 克己



下村 克己  
Katsumi Shimomura

プロフィール  
profile

【卒業年】平成7年  
【専門領域】消化器外科、肝胆膵外科、災害医学  
【認定医・専門資格名】  
日本外科学会専門医・指導医、  
日本消化器外科学会専門医、  
日本消化器病学会専門医・指導医、  
日本救急医学会専門医、  
日本がん治療認定医、  
日本消化器がん外科治療認定医

耳鼻咽喉科医長の為野と申します。耳鼻咽喉科医としては14年、癌専門を志して9年、頭頸部癌専門医となってからちょうど1年が経ちました。

知識や技術の習得を常に意識するのは当然ですが、それ以上に重視することは患者様への向き合い方です。

発生する場所の特徴として多くの苦痛を伴います。その上、ご高齢で基礎疾患があったり、飲酒喫煙習慣の激しい方であったりと、治療耐性の低い方が大多数を占め、治療を推し進めることが困難であるケースも多々あります。そのような中において「エビデンスに基づいた形での、その方にとって最も適切な方針とは？」を常に考えます。

分子標的薬の適応拡大など既存の治療法も変遷し、標準治療も依然流動的ではありますが、「患者中心の医療」であることを忘れることなく、邁進していく所存です。今までも多くの患者様をご紹介いただき、地域の先生方には大変感謝しております。これからも何卒よろしくお願い申し上げます。

■ 診察担当医表

月	火	水	木	金
高木	—	為野	高木	高木
大村	—	—	—	—

★腫瘍外来は開設直後は再診患者中心に診察させていただきます。

お知らせ

# Information

## 第6回 平成28年度 京都第一赤十字病院 看護フォーラム

日時 | 平成28年10月29日(土)  
13時~16時

会場 | 京都第一赤十字病院  
管理棟5階 多目的ホール

テーマ | 地域でつなごう看護の力  
~病院、地域それぞれの立場から~

※ご参加をご希望の方は、当院までお問い合わせください。

## 第7回 がん患者さんに携わる医療者対象の研修会

日時 | 平成28年11月25日(金)  
17時30分~19時

会場 | 京都第一赤十字病院  
管理棟5階 多目的ホール

※詳細は、別紙をご参照ください。

## 第6回 がん患者さんに携わる医療者対象の研修会

日時 | 平成28年11月9日(水)  
18時~19時

会場 | 京都第一赤十字病院  
管理棟5階 多目的ホール

※詳細は、別紙をご参照ください。

## 第17回 京都第一日赤 がん診療連携ワークショップ

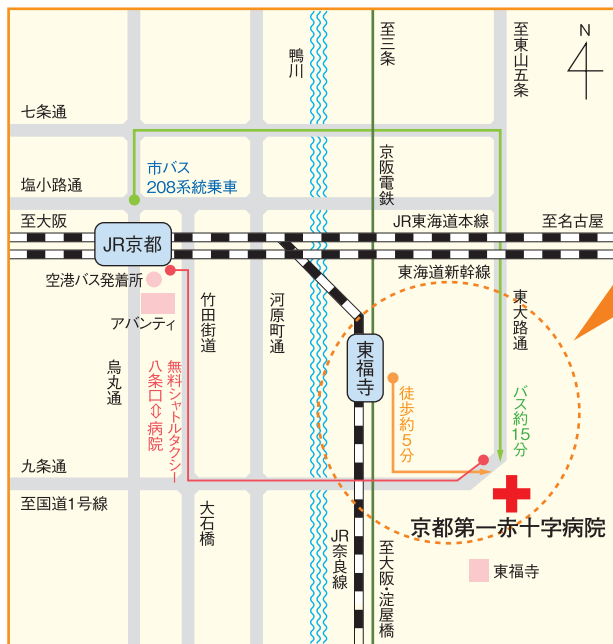
日時 | 平成28年12月8日(木)  
18時15分~

会場 | ホテルグランヴィア京都  
3階 源氏の間

※詳細は、別紙をご参照ください。

### Access to Japanese Red Cross Kyoto Daiichi Hospital

## 当院へのアクセス



### 電車をご利用の場合

JR奈良線、京阪電鉄…「東福寺」駅下車、徒歩5分

### バスをご利用の場合

市バス202、207、208系統「東福寺」バス停で下車

### 車をご利用の場合

【奈良、大阪方面から】… 京都南IC出口、国道1号線を北へ約2.5キロ京阪国道口を東(右折)へ、九条通りを約2.5キロ

【山科、大津方面から】… 国道1号線を西進、東山五条交差点を南(左折)へ、東大路通りを約2キロ

【京都駅付近から】… 竹田街道を南へ約500メートル、大石橋交差点を東(左折)へ九条通りを約500メートル

### 無料シャトルタクシー運行のご案内【JR京都駅八条口⇄病院(地下鉄九条駅経由)】

	八条口発 病院行き	病院発 八条口行き
始発便	7:45 次発 8:10、以降30分間隔で運行	9:00 以降30分間隔で運行
最終便	16:10	16:00

※12:40八条口発の便は運行しておりません。 ※12:30病院発の便は運行しておりません。

※交通状況により時刻に遅れが生じる場合があります。  
※運行は平日のみとなります。土・日・祝日等病院の休診日は運行いたしません。  
※定員9名のため満員の場合は次の便をご利用ください。

## 京都第一赤十字病院

京都市東山区本町15-749 TEL.075-561-1121

地域医療連携室 【直通】TEL.075-533-1280  
FAX.075-533-1282